



2017-18 Polar Quest社 Sea Endurance号

小型探検船で、スヴァールバルの探検 10泊11日 日程表  
Expedition Svalbard with Sea Endurance

2017.5.14現在  
Polar Quest日本地区代理店  
株式会社オーシャンドリーム  
042-773-4037

日次	都市	スケジュール、見どころ	食事	宿泊
1	ロンゲイヤービエン	ロンゲイヤービエン空港到着。シーエンデュランスへ移動、チェックイン。自由時間。		Hotel
2~10	探査クルーズ 予定地  ノースウエスト・スバルバード(スピッツベルゲン)  素晴らしいフィヨルド  ヒンロベン海峡 アルケフェレット  東スバルバル  南西スピッツベルゲン	北極圏という特殊な地域のため、寄港地は天候や氷の状態により大きく左右されます。正確な日程は、これらの条件や野生生物の発見状況によります。陸に野生生物を見つけたらゾディアックで上陸します。以下、寄港予定地でダンスコヤ、アムステルダムモヤとイトレノルスコヤにはいまだに17世紀に捕鯨が盛んだった頃の残骸が残っています。多くのピリカ、ウミスズメやウミガラスがこの周辺に営巣しています。  スヴァールバルには数多くの息を呑むようなフィヨルドがあります。リエフデフィヨルデンは、「愛のフィヨルド」という意味のとおり自然の美しさに溢れています。雪を頂いた山々に囲まれ、壮観なモノコ氷河に続いています。ホンケワタガモやコザクラバシガンがこの周辺で巣作りをします。運が良ければ珍しいアカハナケワタガモを見る事ができます。クロスフィヨルデンでは「7月14日氷河」の美しい氷の彫刻を目撃、周辺の崖はミツユビカモメやハシブトウミガラスで埋め尽くされ、うるさく出迎えます。ラウドフィヨルデンは大自然の魅力あふれる場所ですが、氷河の美しさが何より際立ちます。アザラシや鳥が忙しく飛び回ります。  大量の氷塊が集まる海峡を航海するのは、ワクワクします。この海峡にはいることができれば、この海域は特に栄養価が高く餌が多いので、鳥が多く集まる理由が説明できます。アウケフェレット(玄武岩の崖)に巣作りをしている20万羽のウミガラス(Guillomet)の群れを観察します。天候次第で、ノールアウストラネ島のパラデルブクタまで進みます。  ノールアウストラネ島は巨大な氷に覆われナチュラリストや歴史学者を魅了します。巨大な表の壁が、何百もの滝に遮られています。バレンツ島とエオゲ島では、素晴らしい風景と広大なツンドラが広がり、セイウチ、北極キツネやスバルバルトナカイに遭遇するチャンスが大きいです。  ホルンズの広大なフィヨルドは、雲を突き抜けるような高さの山と氷河で驚かされるでしょう。お天気に恵まれれば、ホルンズティンド山脈の1431メートルの高さの頂点を見ることができるよう。フィヨルドの氷の上では、アゴヒゲアザラシやシロクマが一休みしています。	B, L, D	船
11	ロンゲイヤービエン	朝食後下船。空港へ送迎。	B	

\* 北極圏という特殊な地域のため、ルートは氷や天候、遭遇する野生生物によります。場所によっては、近寄れない場合もあります。探検を成功させる鍵は、フレキシビリティです。ルートは、キャプテンとエクスペディションリーダーが乗客の安全を第一に決定します。